不動心

平成31年3月
第54号
発行　普照院

二祖真教上人七百年御遠忌　平成31(2019)年

昨年よりお話させていただいている「二祖真教上人700年御遠忌」の第四話です。
前回号でも書かせていただきましたが、その真教上人のご遠忌が 2019 年 10 月に時宗総本山にて 5 日間に渡りお勤めされます。**当寺院も檀家信徒有志の皆様と共に、別紙の日程で団体参拝を予定（別紙参照）しています。**さて今回は、その参拝地である時宗総本山『清浄光寺（通称・遊行寺)』について、簡単に**ご説明させていただきます。**

まずここで皆さんに一番知っておいて欲しいこと。それは、時宗開祖一遍上人が総本山遊行寺を建立された訳ではなく、また所縁があった訳でもないことです。
それは一遍上人が、その生涯を常に遊行（旅をしながら布教をすること）生活で過ごされ、一度も定住することが無く、また自らの教えを広めようとする意志がなかったためにお寺を建立する必要がなかったからです。ところが一遍上人の遊行を相続した二祖真教上人の時代になりますと、一遍上人と違い時宗教団を率いその教えを確固なものとするために、布教拠点としてのお寺（時宗では、本来お寺のことを道場と言います）を建立する必要が出てきました。
そしてその後のお上人も時宗の道場を建立していく中、真教上人の弟子である四祖上人（4代目）呑海上人が建立した道場（1325 年）が、さらにその後の長い年月の紆余曲折を経て、江戸時代の徳川家康公が実施した宗教統制政策の際に各地にあった時宗各派（12 派）が一つにまとまる中で総本山とされました。

簡単にご説明させていただきましたが、私たちの総本山遊行寺にはまだまだたくさんの疑問があると思います。それは10月の団体参拝の中（特にバスでの移動ですので時間はたっぷりありますので）で、遊行寺だけでなくその他時宗のことについて、二祖真教上人のことについて詳細をお話させていただこうかと思っています。
とにかく、檀信徒の皆さんを正式にお誘いする総本山への旅は、先代義天和尚（ぎてんおしょう）の頃よりほぼ50年ぶりのことです。奮（ふる）ってご参加ください。

【平成31年（5月以降は新元号）のお寺行事（予定）】

月	日	行事	内容
3月	21日	春彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	24日	春彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。
4月	8日	釈迦生誕祭(花祭り)	花見堂を設置しております。随時お参り下さい。
8月	7日	盆墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	16日	盆施餓鬼 ・初盆精霊供養法要	午後2時より、本堂にて。 併せて本年の初盆精霊をお供養します。
	23日	地蔵盆【地域行事】	午後6時より、本堂地蔵尊前にて。
9月	23日	秋彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	26日	秋彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。
10月	14日 ↕ 16日	時宗総本山へ 二祖上人御遠忌 団体参拝（予定）	14日：午前9時出発－同日夕方総本山到着（泊） 15日：法要参加－昼食後、観光地散策予定（泊） 16日：午後4時ごろ、神戸着
12月	8日	成道会・永代塔納骨供養	舞子墓園 当寺院永代供養塔前にて。
	27日	歳末墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。

*変更等がある場合は、後日ご連絡させていただきますので、ご容赦下さいませ。

当寺院の本堂での葬儀は、この不動心が届く檀信徒様からのご紹介であれば、どなた様でもご利用していただくことができます。

＊ 本堂の使用料は、無料です。詳細はご遠慮なくお問合せ下さい。

〔編集後記〕先週ラジオで、『教育とは、やってみせ、やらせてみて、ほめてやるこっちゃー！』という言葉を残されたある会社の社長さんの話を聞きました。そして先月、私が聞いたある講演の演題は『子供は、ほめて伸ばす』でした。しかしこれは子供だけでなく、大人に対しても同じことが言えるそうです。確かに、ほめられて悪い気になる人はいませんよね。そして他人をほめてあげるとその人の心を気持ち良くするだけでなく、自分自身の心も穏やかになるそうですよ。　合掌

発行；[時宗 慈光山 普照院]　　責任者　小田義宗
〒652-0853　神戸市兵庫区今出在家町４－１－29
電話　078－671－1787　　メール　fusyoin-2006@yahoo.co.jp
ホームページ　http://fusyoin.com/

これからは、お寺もどんどん情報を発信します。
とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげて下さい。